

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス 小田原ひかり		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 6 日 ～ 2025年 11月15 日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33 (回答者数)	32
○従業者評価実施期間	2025年 11月 6 日 ～ 2025年 11月15 日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10 (回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	2024年11月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	習熟度に合わせた一人一人に向けたきめ細やかな支援や活動内容 チームで多彩なプログラム企画立案、実施をしている。	それぞれの習熟度に合わせて、プログラム内容を変えたり、同じプログラムでも役割を変えたりと自分なりに参加できるように工夫している。	他施設の活動内容などを参考にしていく。 年齢構成が上がってきているため、中高生向けのプログラム企画を充実させていく。
2	スタッフが子ども達や保護者様からの信頼を得ている	ご利用者様一人一人と向き合い、表現しきれない思いを汲み取る努力をしている。他では言い出せない話などをひかりではできるといっている。 保護者様からの相談に即時応じ、必要な場合は関係機関と連携し解決へ向けて動いている。	年齢や習熟度に応じた対応を行っていく。 保護者様とは送迎時やLINEでのやりとりできめ細かくニーズや悩みをキャッチしていく。 関係機関との連携強化をしていく。
3	ひかり・Lino 2施設での運営を行っていることによる相乗効果がある	ご利用者様の習熟度に合わせた施設選択ができる 合同での避難訓練や研修の実施を行っている 職員全員、施設全体のご利用者様の情報共有を行っている	より緊密に連携し情報共有を行っていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	肢体不自由児の受け入れが難しい	施設の構造上、階段の上り下りが必要となってしまう。賃貸物件のため、構造は変えられない。	ニーズがあった場合には1回フロアの活用を考えていく
2	地域連携 保護者同士の連携支援	2年ほど前まではコロナ感染症の流行との兼ね合いで保護者会などが実施できていなかったが、昨年度より茶話会、作品展などを開催した。まだ保護者交流に慣れていないため今後の参加率を上げていきたい。	茶話会と作品展において保護者同士の交流を促進した。今後も保護者交流の企画を立てていく。 会場の工夫が必要(日程、駐車場の有無など) 参加できない保護者へのフォローが必要と思われる。
3	引き渡し訓練未実施	毎月各種の避難訓練(地震、火災、水害など)コロナ感染症流行や保護者様のご都合との兼ね合いがあり、引き渡し訓練を実施するまでに至っていなかった。	BCP策定に伴い、今後保護者様の無理のない範囲で実施に向けて計画を立てていく。